

## Check Point の新 AI セキュリティ製品群の取り扱いを開始

～AI Security と Exposure Management で企業の AI 活用とサイバーリスク対策を包括的に支援～

丸紅 I-DIGIO グループ・デジタルソリューションセグメント(セグメント CEO:木村 直喜)の丸紅情報システムズ株式会社(代表取締役社長:佐藤 由浩)は、Check Point Software Technologies Ltd.(以下、Check Point)が新たに提供する「AI Security」および「Exposure Management」について、日本市場においていち早く取り扱いを開始します。

生成 AI や AI エージェントの業務利用が急速に拡大する一方で、シャドーAI の利用や機密情報の入力、プロンプトインジェクション、AI エージェントによる権限・ツールの悪用など、従来のセキュリティ対策だけでは対応が難しい新たなリスクが顕在化しています。また、サイバー攻撃の高度化・高速化対策として、脆弱性の検出から優先順位付け、修復までを迅速に行う体制の重要性も高まっています。

Check Point の先進的な AI セキュリティおよびエクスポージャー管理ソリューションは、企業の安全な AI 活用とサイバーリスク低減を支援します。Check Point AI Security は、従業員、AI アプリケーション、AI エージェントを横断的に保護する統合型 AI セキュリティソリューションです。企業が統制された環境で安全に AI を利用・展開することを支援します。Check Point Exposure Management は、継続的脅威エクスポージャー管理(CTEM)を実現するソリューションです。脅威インテリジェンス、脆弱性の優先順位付け、安全な修復を統合し、攻撃者目線で導入企業のリスクを把握した上で、真に対応すべき脆弱性や設定不備への対策を支援します。

### < Check Point AI Security の主な機能 >

- ・組織内で利用されている AI アプリ・AI ツールの可視化
- ・シャドーAI や未承認 AI 利用の検出
- ・機密情報の入力・送信を防ぐ AI 搭載 DLP
- ・プロンプトインジェクションやデータ流出の防止
- ・AI エージェントの利用状況、権限、接続先の監視・制御
- ・AI アプリケーション向けガードレールの提供

### < Check Point Exposure Management の主な特長 >

- ・外部攻撃対象領域の継続的な監視
- ・脅威インテリジェンスに基づくリスク評価

- ・悪用可能性や事業影響を踏まえた脆弱性の優先順位付け
- ・既存セキュリティ製品との連携による安全な修復
- ・MTTR の短縮による迅速なリスク低減
- ・エージェントレスかつオープンな統合アプローチ

AI 活用支援・生成 AI 基盤構築・データ利活用・AI モデル最適化などの各種ソリューションを通じて、企業の AI 活用とサイバーセキュリティ対策を包括的に支援します。AI の導入・活用が進むほど重要性が高まるセキュリティ、ガバナンス、コスト最適化、データ主権への対応に向けて、国内外の先進テクノロジーをいち早く取り込み、AI を「安全に、効率よく、実ビジネスで利用できる」状態とすることで、お客様の AI トランスフォーメーションと事業成長、安全なデジタル変革に貢献していきます。

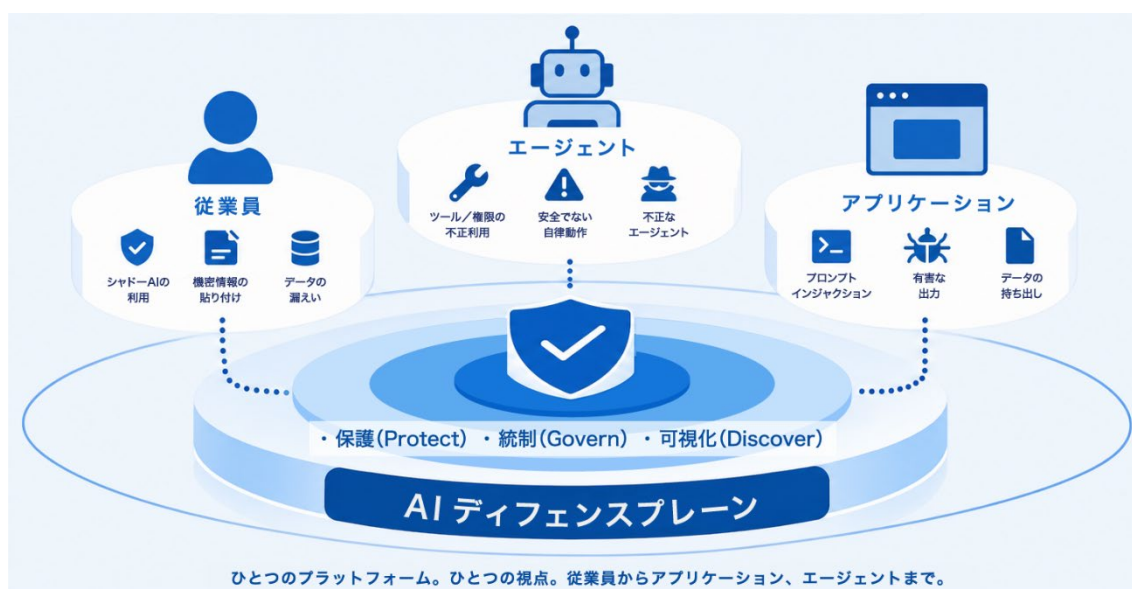



図1: AI Security イメージ



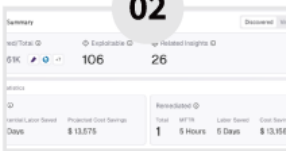
**01**

**Threat Intelligence**

脅威インテリジェンスを予防的アクションへ

外部の攻撃者シグナルと内部テレメトリを継続的に相関し、現在武器化されているリスクを特定します

- Attack Surface Management
- Deep & Dark Web Monitoring
- Digital Brand Protection



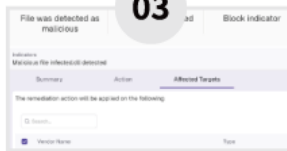
**02**

**Vulnerability Detection & Prioritization**

脆弱性・設定不備・脅威活動を相関し優先度付け

発見に留まらず、ビジネスコンテキストを加味して、測定可能なリスク低減につながる計画を提示します。

- Prioritize Risk in Real-Time
- Maximize Compensating Controls
- Integrated Remediation



**03**

**Safe Remediation**

事業継続性を保ちながら安全に露出を低減

実行前にアクションを検証し、セキュリティスタック全体で連携。稼働率や業務影響に配慮しながら継続的に監視します。

- Agentless Security Stack Visibility
- Continuous Exposure Assessment
- Remediation Anywhere, Through Any Workflow

図 2: Exposure Management

製品サイト: <https://www.marubeni-idigio.com/product/ai-security/>

【丸紅 I-DIGIO グループについて】

丸紅 I-DIGIO グループは、丸紅株式会社の ICT 領域における事業会社グループとして、以下の 4 事業セグメントに注力し、商社の強みである幅広い顧客基盤とネットワークを生かした成長戦略を推進しています。

製造ソリューションセグメント: 製造業向けソリューション

流通・産業ソリューションセグメント: システム開発およびコンタクトセンターソリューション

デジタルソリューションセグメント: ネットワーク・ストレージ・クラウド・セキュリティ領域のソリューション

アドバンスドインテグレーションセグメント: IT 基盤領域の設計・構築・運用

ホームページ: <https://www.marubeni-idigio.com/>

<お問い合わせ先(プレス関係者窓口)>

丸紅 I-DIGIO ホールディングス株式会社

コーポレートセグメント コーポレート改革推進本部

マーケティング&コミュニケーション部 広報課

〒112-0004 東京都文京区後楽 2 丁目 6 番 1 号 住友不動産飯田橋ファーストタワー

電話:03-4243-4040

<製品に関するお問い合わせ>

丸紅 I-DIGIO グループ

デジタルソリューションセグメント 新規事業開発部

電話:03-4243-4210

\*文中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

\*ニュースリリース記載の情報は発表日現在の情報であり、予告なく変更される場合があります。